

## 防府市消防署との合同避難訓練実施

この度、三友本社ビルにて防府市消防署との合同避難訓練を実施致しました。消防署からは、はしご車1台、消防車3台、消防隊員約15名に参加いただきました。

当日は、通常の避難訓練に加え、はしご車による屋上からの避難訓練、水消火器による模擬消火訓練を実施し、緊張感のある避難訓練となりました。防府日報にも掲載されましたので、掲載記事も併せて紹介いたします。



**高層ビル火災を想定**  
**三友本社で避難訓練**  
 6階建て以上の高層ビル火災を想定した避難訓練が8日、駅南町の三友本社であり、市消防署(佐波2丁目)の隊員が、はしご車で屋上から社員を救助するなど、いざという時の行動を確認した。同社は8階建てで、約50人の社員が働いているという。4階の台所から火が出たと社員が119番し、すぐにハンカチを口に当てて屋外へ逃げた。屋上に逃げた2人は、



はしご車で屋上から社員を“救出”した

地上30メートルまで届くはしご車で隊員に救出された。  
 同署は、7月に京都市の京都アニメーションで起きた放火殺人事件を念頭に「想定外の火災が起こりうる時代。いかに早く逃げるかが重要で、火事は起きないと油断しないでほしい」と呼び掛けた。  
 (吉野敦裕)